



2009年度 分野横断的演習について

2009年 7月 7日
内閣官房 情報セキュリティセンター (NISC)

第1次行動計画

<2006年度>
官民連携の仕組みづくり

研究的演習

演習実施概念、演習課題設定、演習手法の理解等を主眼として実施。

机上演習

脅威として災害を設定し、会議形式の演習を実施。

<2007年度>
官民連携体制の機能向上

機能演習

脅威としてDDoS攻撃を設定し、チーム毎に個室に分かれ、メールのみを利用した演習を実施。

<2008年度>
官民連携体制の実効性向上

機能演習

参加者にIT障害の発生原因を知らせないなどより現実に近い状況で、起こった現象に関する関係者間の情報共有により原因を特定し、サービスの維持・早期復旧や事業継続等を行っていく演習を実施。

分野横断的な演習手法に関する知見

第2次行動計画

分野横断的な重要インフラ防護対策の向上

目標

分野横断的な脅威に対する共通認識の醸成

他分野の対応状況把握による自分野の対応力強化

官民の情報共有をより効果的に運用するための方策

得るもの

演習に関する施策

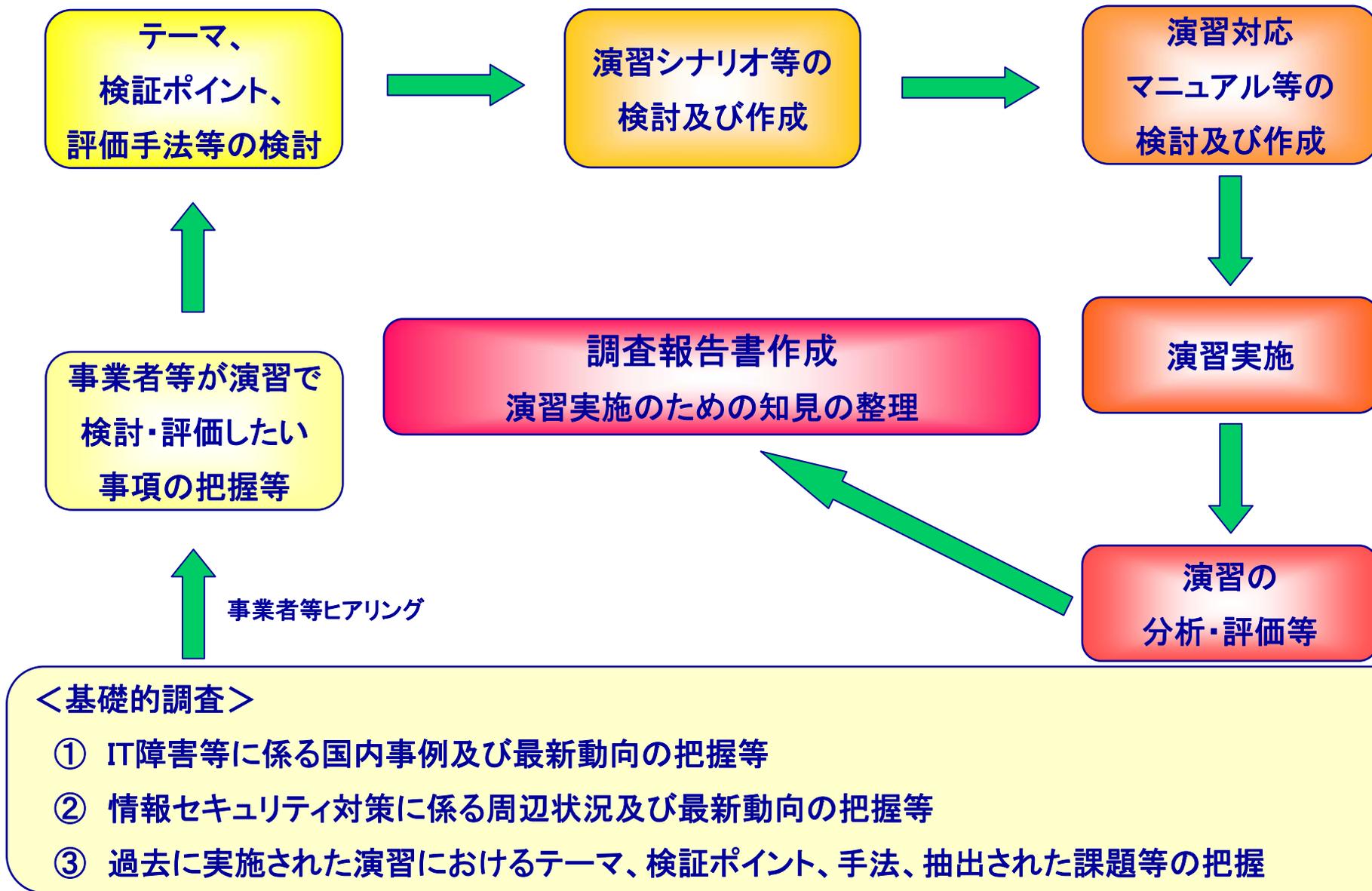
- ① シナリオ、実施方法、検証課題等を企画し、演習を実施
- ② IT障害発生時の早期復旧手順・事業継続計画の検討状況等を把握し、その結果を演習参加者等に提供
- ③ 演習の向上策検討
- ④ 演習の実施方法等に関する知見の集約・蓄積



机上演習状況



機能演習状況



※演習の検討に際しては、検討会を設置し、適宜意見を聴取しながら実施する。

演習終了後の意見交換会、アンケートにおいて寄せられた主な意見

- (1) 全体
 - ・ 演習時間、分散型演習と集合型演習(意見交換会)のバランス、シナリオの事前非開示、演習規模に関しては、2008年度レベルが良い。(多数)
- (2) 実時間と想定時間
 - ・ 実時間のみで行うべき。(多数)
- (3) 職場環境での演習参加
 - ・ 参加について検討したい。(半数以上)
- (4) 要因、対象として取り上げたい障害や分野について以下のような意見があった。
 - ・ 必ずしも全分野を対象とせず、特定の分野に絞っても良い。
 - ・ サービスの停止・低下が他業種のサービスに影響を与える特に基幹となっている業種の障害が良い。
 - ・ Webサイトの障害よりも、基幹業務システムのダウンが良い。

2009年度分野横断的演習の全体スケジュール（案）

	2009年									2010年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門委員会				▽ 進め方		▽ シナリオ案		▽ 実施概要		▽ 結果速報		▽ 最終報告
検討会				▽ 方針検討		▽ シナリオ案	▽ シナリオ決定		(▽) 速報		▽ 中間報告	▽ とりまとめ
説明会								▽				
演習									▽			
活動内容	体制・活動方針の検討											
	事業者等ヒアリング											
	IT障害等に係る国内事例、最新動向の把握											
	過去に実施された演習におけるテーマ等の把握											
	演習テーマ、検証ポイント、評価手法等の検討											
	演習シナリオ等検討作成						実施手法等検討		マニュアル等検討作成			
										演習評価、報告とりまとめ、総括		